

退職後の ボランティア活動

— 通訳ガイドで小さな国際貢献 —

現在の会に入会した動機

退職後に何をするか？ と言うプランは五〇歳代後半から、考えていたことです。余暇時間の使い方として、現役時代には時間の制約で観たくても観ることができないTV番組をビデオテープに録画し、それを定年後の時間に観ることとしました。録画したテープはダンボール箱に三箱も貯まりました。書籍も随分と買い込みました。(このうち退職後に実際に観たテープは五巻程で、本もソンドク状態です。)

実際に退職後、即座に始めたことは、先ず健康第一の観点からジムに通い「筋

トレ」と、月に一度の男性用料理教室、家周りの手入れでした。在職中から徐々に食事の量を減らし、筋トレとの相乗効果が現在では二〇歳の時と同じ体重になりました。体重が減ったことで、懸垂が出来るようになり七〇歳を過ぎた現在も続けております。

家周りの手入れが一段落したところで、ボランティアで何か社会にお返しが出来ないかを考え、在住する市のボランティア活動を覗いてみましたが、主に体を使う労働奉仕的なものが多い等、活動内容的にも心の琴線に触れる様な活動が見出せませんでした。



井爪 弘一

【いづめ ひろかず】1937年横浜市生まれ。民間会社に設計・開発技術者として従事。後に技術サービス部門に移り数度の海外駐在で、延べ10年にわたる外国生活、訪問した国の数は38ヶ国に及ぶ。息子が2人で孫1人、現在は妻と二人だけの生活。

退職して一年ほどたった頃、元の会社の方と或る会合で会い、その方が行っておられるボランティアで、外国人を県内で観光案内を行う会が有ることを知り、活動の詳細を知るためにその会の月例会を覗いてみました。

会の名称は「神奈川善意通訳者の会」です。もしこの名称でボランティア団体のリストに記載されているのを見たら、敷居が高そうである気にはならなかったと思います。たまたま私の場合には活動内容を先に知り、興味を引かれ会の名称は後から知った訳で、幸運だったと思います。又、この会を通して在職中にお世話になった諸



設立20年の記念誌

外国も含めた、小さな国際貢献に、微力を尽くすことが出来そうだと考えました。私自身も出張先の幾多の国で多くの方々に、その国や町を案内して頂きました。

外国人のご案内であれば、在職中にも何度か行った経験が有りますので、これは出来そうだと思ったことと、何よりも会のモットーである「出来る人が出来ることを、出来る時に」が参加するのに束縛が無いので、この会に参加を決めました。

又、会費は年六〇〇〇円とのことで私の許容範囲内でした。

善意通訳者の会について

外国に対しては、Systematized Goodwill Guide (略してSGG) と称し、国内で善意通訳者の会と称してお

ります。この名は、個人的には何かしっくりきませんが、現在の独立行政法人日本政府観光局(JNTO)が三〇年近く前に制定した名で、全国で八〇程の会があります。

全国の主要都市や観光地には、このSGG組織が有りますので、外国からのお客様は、無償のガイドを目的の地ごとに予約することが可能です。しかし一般的には国内外共に殆ど知られていないので、利用者が少ないのが難点です。私の住む神奈川県には神奈川県善意通訳者の会と小田原・箱根善意通訳者の会とが有り、私は前者に入会しました。

JNTOから全国のSGGに対しては、JNTOの英文ホームページに各SGGの連絡先を掲載していただいております。

神奈川県善意通訳者の会 (略してKSGG) の紹介

この会は、二年前の一九八九年に(独)日本政府観光局(JNTO)、神奈川県(社)神奈川県観光協会、(財)横浜観光コンベンション・ビューローなどのご支援を受け、「善意通訳登録者」(Goodwill Guide, 略称GG) 個人の活動をより効果的にする為、一九八九年三月、神奈川県内の善意通訳登録者有志八二名により設立された、語学ボ

ランティアグループです。前述した会のモットーの下、その会員の構成は現在一七〇名ほどで、五〇%強が男性です。昨年行われた横浜市長との会合でも、一般的にボランティア団体は女性が多いが、この会は男性が多いと驚かれました。

男性会員は定年退職された方が多く、現役時代に仕事で外国語を使用されていた方や、外国駐在をされた方が多いのに対し、女性会員は学校の先生(現役及びOB)が多い様です。

対応可能な言語は、英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、中国語、韓国語です。

●KSGGの主要な活動

次の五項目の活動を行っています。

- ①観光ガイド
- ②通訳
- ③在住外国人支援(留学生を含む)
- ④会員研修

国際理解講座

外国語講座(時事英語、中国語)

フランス語、スペイン語

ガイド座学講座

ガイド実施研修

⑤広報

各活動内容の概略は次のようなものです。

①観光ガイド

ガイドは公共交通機関を使用した昼間のみのサービスとなります。車を扱う場合或いは夜のガイド等は、プロのガイドにお任せいたしております。

ガイド費用は無料ですが、ガイドの自宅から目的地の往復交通費、施設入場料、昼食を共にした際の食事代は、お客様の負担となります。ホームページからの申込書には、この事と観光中に盗難や事故が有った際には、ガイドもK S G Gも一切責任は負えないことを明記し、それを了承してからの申込をするシステムにてあります。更に、実際のご案内開始に当たり、それを書類にしてお客様の確認サインを頂くことを規則にしております。(会員ガイドの事故等不測の事態に対しては、会で損害保険に入っております。)

ガイド先は主に横浜・鎌倉で、他に江ノ島も含む時があります。(この他に年に一度、平塚七夕祭のガイドが有ります。)又、その他はお客様の要望に応じています。

横浜は、みなとみらい、山下公園、中華街、三溪園等々。

鎌倉は、長谷の大仏、鎌倉八幡宮、長谷寺、杉本寺、円覚寺、建長寺等々。

お客様の健康に合せ、健脚コースも有ります。

ガイドコースはご経験の無いお客様用に、会のホームページに横浜・鎌倉各四コースを準備しております。

ガイドの申込はK S G Gのホームページからの事が多く、他のS G Gからの紹介、自治体や大学からの要請も有ります。

お客様は個人客が主ですが、変わったところではミシュランレストランガイド誌記者の取材案内(毎年行っています)、外国テレビ局の取材案内、日蓮宗カナダ支部ご一行の鎌倉日蓮宗寺めぐり案内(各お寺でこの方達が、南無妙法蓮華経とお経を唱えた。)その他、毎年恒例の県内在住の大学や大学院の外国人留学生及びその家族の鎌倉案内(この時は学生さんのお寺の拝観料はK S G Gが負担しています)、米国の洋上大学(学生や院生が、客船で世界を寄港しながら、船中で授業を行う。)が、横浜港に寄港した際の鎌倉案内(この時は禅寺での座禅体験も組み込まれています。)。湘南国際村で行われる国際学術会議参加者と、そのご家族の鎌倉案内、等々を行っています。この他に、国際協力機構(JICA)、海外技術研修協会(AOTS)、日本国際協力センター(JICE)の研修員、その他インドネシア・フィリピンからの護士研修生、等の鎌倉ガイドを行っています。(JICAとA

O T Sのご案内は毎月週末に限定して行われますが、多い時には一度に七〇名超もの参加者になります。)

年間のお客様人数はJICA、AOTSを含め約一〇〇カ国、千人程度です。

②通訳

a) 観光庁がみなとみらい地区で行う、
「ようこそJapanトラベルマーケット
商談会」(外国の旅行者者に対して、国内各地のホテル・鉄道・観光バス・観光施設等々が、お客誘致の売込みを行うイベントで、詳しい商談になることも有ります。)

b) 横浜防災訓練

c) 外国の商工会議所と日本の受け入れ側との食事会

d) 外国の小中学校先生方や、生徒達の日本の小中学校授業参観

e) 横浜ライブデザインフェア(これにはK S G Gとしても出展しています。)

f) その他、変わったところでは外国に嫁いだ日本女性の、お子さんが母方の実家訪問された時の通訳や、鎌倉八幡宮で神前結婚式を挙げたいと希望する外国人留学生カップルの、神社との事前協議と挙式当日の通訳や、横浜市が招いた中国雑技団の街頭公演時の通訳、等々が有ります。



上：ガイドを行う筆者
下：会のメンバーによるガイド



③ 在住外国人支援

a) 留学生が作成する日本語論文等の文字と文章の添削（内容ではありません）。

b) 留学生やその家族、その他の外国人に対する日本語指導（読み、書き、話す。）及び、生活サポート（近隣の人々との交流通訳、買物同行等。）

時には、着物の着付けと、書道の集いも行い、参加された女性の外国人達に、会員の持参した和服を着て着物姿を体験してもらう。半紙に墨筆で漢字やひらがなを、会員指導員の助けを得て書き、両方とも非常によろこばれています。

④ 会員研修

横浜・鎌倉を主に、実地研修と会員向けガイドブック編纂・発行を行っています。

実地研修では、知識豊富な会員による新人会員に対する詳細な歴史の説明等が行われています。

国際理解講座として会の月例会に外国人を招き、その国の事や生活、その他について英語で話していただきます。今までに五〇ヶ国以上の方々を、お招きしました。

百科事典やWikipediaでは知りえない内容を知ることが出来ます。講師は会員が探して交渉し、来て頂きます。

⑤ 広報

a) 毎月の会報編集と発行

b) 会報及びホームページ掲載原稿の決定と、その英訳

c) ホームページの制作・メンテナンス

会のホームページは、会の存在と活動内容とを、国内外へ広く知って頂く唯一の手段です。この制作・運営は広く会員から募集し、応募された会員有志がチームを作り、会の購入したソフトを使い制作・メンテナンスを行っております。この様な作業は若い方々はお得意ですが、その様な方々は時間が

無く、時間の取れる退職者主体でやっております。ホームページを見た方に

インパクトの有る外観と内容にすべく、制作やメンテナンスは現役時代にコンピュータメーカーで設計をされていた方のご指導を仰いだり、画面の配置や色を芸大ご出身の講師からの講演を受けたりしています。

又、出来上がったホームページを、実際に外国で外国人にその方の視点から見て頂き、その声を反映させることもしています。

この様なモニターには、会員の方々の世界各地に住む外国人の友人達にお願いいただきました。

ホームページからのガイド申込は、各曜日七名の会員が分担して、一年三六五日外国からのご要求に答えております。

会の詳細が記載されていますので、是非次のKSGGのホームページをご覧ください。たくさん存じます。

URL: <http://www.ksgg.org/>

各地のSGG詳細をご覧頂く際には、JNTOのホームページから各地のSGGホームページに入れる様になっています。

URL: <http://www.jnto.go.jp/>



女性会員によるガイド

現在の心境

この会に入会した当初に、横浜・鎌倉の分厚い和英対比ガイドテキストを頂き、これを全部覚えるのか！これは大変だ！自分に来るのかなど、途中に暮れた時もありましたが、会員研修に参加したりするうちに、毎月それぞれ一度ずつ行われるJICAやAOTSのお客様の鎌倉案内なら、ガイドとして参加される会員も多いので、テキストを全部覚えていなくて途中でつかえても、他の会員のヘルプが得られ

るので、先ずはこれから始めました。実際にガイドを行うと結構な歩行数で、運動にもなり健康増進にも役立つと思っています。

横浜山手の外人墓地研修では、通常は入れない墓地の中に入れて頂き、国により異なる十字架が見られました。(筆者は西ヨーロッパとロシアとでは、墓石の十字架形状が全く異なることや、同じ英国でもフリーメイソンの墓は異なることを、この研修で初めて知りました。)

実際に外国人のガイドを行うと、どうしても「日の丸」を背負ってしまいます。

私個人として鎌倉ガイドでは、お客様に「神風」の起源について語り、理解を得る様になっています。(円覚寺建立とも関連します。)

先輩会員の方々に月例会、研修会、ガイドで何度かお会いし、その人間性の良さから、これなら長くお付き合い出来ると思えました。

退職して一年も過ぎると、あまり新しいことを考えなくなりましたが、この会に入りガイドとして必要な知識を覚える必要があり、特に英語での神社仏閣の説明には、ビジネス社会では全く使用することの無かった単語も覚え

たり、歴史を勉強したりして頭を使うことが増え、頭の活性化にもなっていると思っています。

さらに、会の第三世代ホームページ制作にも関わり、現役時代に経験したことのない未知のIT世界を、それに勉強もして久しぶりに頭の中を血が循環している感じを得たりしました。

ホームページからのガイド申込の担当をすることで、見知らぬ外国人からのインターネットメールに対して、現役時代同様の緊張感を持ち対応しています。これらの事は結構難しいことですが、一件終える度に達成感を味わい、体をストレッチで伸ばした時の様な心地良さを頭の中で体感しています。ガイドをするお客様には一期一会の精神で接しています。

先輩会員の中には、身体の不調から屋外でのガイドは出来なくなっても、在住外国人への日本語支援を行っている方もおられますし、ガイドをされるお客様へのお土産として、折紙人形を作って下さる女性会員方もおられます。

会には語学サークルも有り、八〇歳を過ぎてからフランス語や中国語に挑戦され勉強されている先輩会員もおられ、元氣付けられます。

私もこの会で長く国際貢献に微力を尽くしたいと思っております。